

ぶらたなす

NO.5

長月

(ながつき)

長井高等学校

図書委員会

図書館

2021. 9. 30

秋 読書の季節です



夏が終わり、肌寒い季節になりました。テストも終わり、一息つけるのではないのでしょうか。

秋といえばみなさんはどんな季節を想像しますか。私は秋といえばやはり読書の秋を想像します。

最近私が読んだ本は『ツナグ』という本です。この本は死者と生きている人を会わせる人が出てきます。後悔や未練が残っている人が会いに来るといった感動のお話です。

みなさんも感動する本を読んで読書の秋を充実させてみませんか。きっとあなたのお気に入りの本と出会えると思います。ぜひ、図書館においでください。

(1-1 東海林茉央)

図書委員のおすすめの本



『こころの処方箋』河合隼雄：著

みなさんは常識、当たり前とはどのようなものだと思いますか。この本は日常にある常識、当たり前について書かれています。常識や当たり前とは人それぞれ考え方は違うと思いますがとても心に響く本です。

本の一部を紹介します。「正しいや正しくないなど、教えられるというのではなく「呪文」を唱えていると心が収まるのである。」この本を読む人はぜひ心が収まる呪文を探してみてください。そしてこの本がみなさんの実りの秋の一冊になれば嬉しいです。

ぜひ図書館に足を運んでみてください。

(1-1 二階堂桃花)

読書月間10月 始まります

10月11月は本校独自の読書月間です。10月は図書委員によるおすすめの本の色紙を作成し、図書館内や昇降口等に展示をします。

読書には言葉を学び、表現力を高めるとともに豊かな感性と思考力・想像力を育む力があり、さらには思いやりの心や人間性を養うことにつながります。

読書月間を契機にみなさんにとって読書が身近な楽しみとなり、日常の学びを支えることがねらいです。

普段読書をしていない人も、まずは図書委員がおすすめする本の中から、本を選んでみましょう。いつもと違った秋の風景を楽しめるかもしれません。

この秋読みたい本

～新刊図書の中からおすすめの本～

『心に染み入る 日本の美しい大和言葉』高橋こうじ：著

みなさんは普段使っている言葉について意識したことはありますか。日本語の崩れが指摘される昨今、生粋の日本語「大和言葉」について知っておき、使ってみましょう。

具体的な本の内容を紹介します。人や作品などを評価する言葉に「このお菓子、チョーおいしい。」などというように、「チョー」という言葉を使うと思います。言葉の意味する程度を超えると使われていますが、本書でのおすすめの言葉は「このうえなく」。です。「このうえなくおいしい」という使い方です。他にもたくさん美しい言葉に触れるきっかけとなるとと思います。ぜひどうぞ。